

学習内容報告書 フォーマット

学校名	広島県豊田郡大崎上島町立東野小学校
授業者	山住 綾

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

「大崎上島の海を守ろう」 ～つなげよう、広げよう～

1-2. 学年

第4学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間 国語 理科

1-4. 単元の概要

大崎上島は、四方を海で囲まれたおだやかで自然豊かな離島である。産業や観光面において海との関わりが深い町である。地域には昔から続く産業として造船業がある。最近では、豊かな自然を生かした栽培漁業や養殖業（広島サーモンや車エビ、生牡蠣）にも力を入れており、大崎上島を代表するブランドの一つとなってきた。大崎上島の海には、スナメリが生息しやすいきれいな海と藻場がある。スナメリだけではなく、多くの生き物が豊かに育っている。

児童はこれまで3年間「大崎上島学」（生活科・総合的な学習の時間）を通して、ふるさと大崎上島の産業や自然、地域について学習し、様々な体験を行ってきた。4年生になってからは海の生き物の観察を行ってきた。初めは、「大崎上島学」で島内の4年生全員で海浜生物の調査を行った。次に、一般財団法人Zeagonの方々には協力をしていただきスナメリ観察を行い、スナメリについての知識を学ぶことができた。島内の海の環境を比較するため「大崎上島学」で調査した海岸とは違う海岸でも調べ学習をおこなってきた。活動を通して子供たちは、新しい発見や新たな課題を見つけながら活動することができている。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

「大崎上島の海を守ろう」という単元の中で、これまでに自分たちが調べた内容を他者に発信する活動を通して、情報の整理の仕方や話し合い活動をより深いものにできると考える。また、他者への発信がゴールになるため、相手意識をもって報告内容を考えることができる。なにより、自分たちのふるさとである大崎上島のことについてより理解を深める活動となると考えられる。この単元から、大崎上島の海についてより深く学ぶことができれば、ふるさとに対する愛着をもつと共に、海に関わり守る活動をしている地域の方とつながりを深め、自分も地域の一員として主体的に関わろうとする児童の育成につながるものと考え本単元を設定した。

1-6. 育みたい資質や能力，態度

<p>指導に当たっては，単元全体を通して地域の自然と触れ合う体験活動を行っていくことを中心に活動を進めていく。これまでも進めてきた，課題発見・解決学習に取り組みせると共に，児童が主体的に学びを進めていけるような展開の工夫を行っていく。その際，目的や内容などを明確にし，それらを意識して情報を整理できるようにする。</p> <p>本時においては，これまで学習してきたことを振り返り，その内容を，誰に，何を，どのような場で，どのように伝えるのかをしっかりと話し合わせたい。その際，相手意識をもって伝える内容の整理を児童自ら進んで行えるような場を設定していく。</p> <p>単元のゴールとする他者への発信では，国語科で学んだ新聞やチラシ，ポスターなどの広告の工夫を参考にし，リーフレットを作り，自分たちの学びを発表する形にしていく。活動グループごとに発表する内容を決めさせたり，表現の仕方を工夫させたりすることで，豊かな表現力の育成につなげていきたい。</p>
--

1-7. 単元の展開（全70時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
20	<p>課題の設定・情報の収集・整理分析・まとめ・表現</p> <p>○大崎上島の海に探検に行き，海の生き物について調査し，まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大崎上島の海の観察・調査を行う。 	<p>教師の指導 海の探検を行う前に，前年度4年生が作成した海の生き物図鑑を事前に調べさせる。</p> <p>主な評価 海辺の生き物の様子について興味・関心を持っている。【発言・行動観察・成果物】</p> <p>外部連携 広島大学名誉教授 鳥越 兼治 先生</p> <p>使用教材 理科 国語 【季節の生き物】 【みんなで新聞を書こう】</p>
6	<p>①課題の再設定</p> <p>○大崎上島の海の生き物調査について振り返り，自分の思いや友だちの考えを伝え聞き合い，ふるさとの海についての自分たちの思いを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大崎上島の他の海岸の様子はどうなっているのだろうか。 ・大崎上島の海は本当にきれいなのだろうか。 ・もっと大崎上島の海について知りたい。 ・どうやって情報を集めたらいいのだろうか。 	<p>教師の指導 話し合いを行わせるために，海の探検で得た情報を資料にまとめさせる。</p> <p>主な評価 海の生き物や環境の変化を探るために，どのような手順で，どんな情報を集めたらよいか考え，主体的に計画を立てている。【発言・態度】</p> <p>海の生き物や環境の変化を探るための解決方法を考え，主体的に計画を立てている。【発言・態度】</p> <p>使用教材 国語 理科 【案内係になろう】 【季節の生き物】 国語【文の組み立てを考えよう】</p>

10	<p>②情報の収集・整理分析</p> <p>○大崎上島の海について、情報収集する内容や方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の海岸調査を行う。 ・海岸のゴミについて調査を行う。 ・視点を明確にして調査をする。 ・スナメリの調査を再度行う。 <p>○これまでの活動について振り返り、自分の思いや友だちの考えを伝え聞き合い、ふるさとの海を守るために自分たちができることを話し合う。</p>	<p>教師の指導 前回調べた海岸とは違う海岸を調査するので、生き物の種類や大きさ、また、数などについて注目させるようにするとともに、海岸の環境にも注目させる。</p> <p>主な評価 専門家の方から話を聞くことにより、海を守ろうとする思いや努力や地域のよさに気付くことができる。【行動観察】</p> <p>外部連携 一般財団法人 Z e g o n 地域住民（専門家）</p> <p>使用教材 理科 国語 【ヒトの体のつくりと運動】【私の考えたこと】 国語【クラスで話し合おう】</p>
8	<p>④まとめ・表現</p> <p>○海の生き物のパネルを作る。</p> <p>○改善策を実行するために、情報を集める。</p> <p>○調べて分かったこと・考えたことをみんなに伝えられるように準備をする。</p>	<p>教師の指導 海の生き物のパネルを作らせるので、調査中に撮影した海の生き物を自分たちで、分類・整理させる。</p> <p>主な評価 他者と協働し、大崎上島の海を守るためによりよいアイデアを出し合うことができる。【行動観察】</p> <p>使用教材 図工 国語 【忘れられないあの時】【クラスで話し合おう】</p>
2	<p>⑤実行</p> <p>○計画した活動を実行する。</p> <p>※学習発表会で、お家の人や地域の方に自分たちの活動を紹介し、環境保全について呼びかける。</p>	<p>教師の指導 学習発表会に向けて、調べた内容の何をどのように伝えたいか、子供たちに考えさせる。また、発表用の台本を作り、発表の練習をさせる。</p> <p>主な評価 集めた情報を、相手意識を持ち、分かりやすく伝えるような表現の工夫をしている。【発言・態度】</p> <p>使用教材 国語【私の考えたこと】</p>
4	<p>⑥まとめ・振り返り</p> <p>○これまでの学習を振り返り、「大崎上島学」のK授業で大崎上島の海について発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことや気付いたこと 	<p>教師の指導 他校の児童と交流をするので、発表の練習をするとともに、発表内容の再確認をさせる。そして、必要な情報を精選させる。</p> <p>主な評価 他者からのアドバイスを生かして、よりよい方法を主体的に考えることができる。【発言・態度】</p> <p>使用教材 国語 理科 【クラスで話し合おう】【季節の生き物】</p>

20	<p>⑦課題の設定</p> <p>○これまでの活動を振り返るとともに、地域へ発信する内容を話し合う。(本時)</p>	<p>教師の指導 これまでの学習を振り返らせながら、大崎上島の海を守りたいという使命感をもって活動できるようにする。また、発表内容の再確認をさせる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで自分たちが調べたことをもう一度整理しよう。 ・何を一番に伝えるか考えよう。 ・どんな方法で伝えるか考えよう。 <p>○地域への発信に向けて準備を行う。</p> <p>○地域へ発信する。 (Zegonの方や町民の方に成果発表を行う。)</p> <p>○活動の振り返りを行う。</p>	<p>主な評価 課題解決に向けて、最後まで粘り強く取り組むことができる。【行動観察・振り返り記述】</p> <p>ふるさとの海を守るために、自分たちにできることを考え、自らの生活を見直している。【振り返り記述】</p> <p>大崎上島の海の課題について気付くことができる。 【ワークシート】</p> <p>外部連携 一般財団法人Z e g o n</p> <p>使用教材 国語 【クラスで話し合おう】 国語 【目的や形式に合わせて書こう】</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

これまでの情報を、地域に発信するための方法を話し合うことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 本時の学習課題を設定する。 （全体）</p> <p>○2月15日に行われる「すみれ祭り」でこれまでの学習を地域に発信することを伝え、本時の課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大串海岸では、ゴカイの卵を見つけることができた。 ・スナメリ調査は2回行ったけど、見つけることができなかった。でも、調査以外のところで実際にスナメリを見つけることができた。 ・大串海岸だけではなく、野賀海岸に調査に行くことができてよかった。 ・野賀海岸では、大串海岸と潮の流れが全然違って驚いた。 ・生き物は住んでいる環境によって大きさや種類がちがっていた。 ・野賀海岸で気になったゴミを臼島まで調査に行けて勉強になった。 ・きっと他の島にも人間が出したゴミが多く流れ着いているはずだから、なんとかしたいな。 <p><input type="text" value="本時の課題"/></p>	<p>○これまでの調査内容を確認させる。</p> <p>○今まで活動したことを、付箋に記入し活動内容を整理していく。</p> <p>○これまでの情報をより多く出させるために付箋に書く時間をしっかりと確保する。</p> <p>○今までの活動は、大崎上島の海の現状を自分たちが知る活動にはなっていたが、守る活動にまでは十分になっていなかったことに気付かせる。</p>
<p><input type="text" value="これまでの情報を、地域に発信するための方法を話し合おう。"/></p>	

<p>2 伝えたい内容について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大崎上島に生息する生物について紹介したい。 ・スナメリが生息する海であることも知らせたい。 ・大崎上島の海でも場所によって環境が違うことを知らせたい。 ・今海のごみがどうなっているのか伝えていくべきだと思う。 ・豊かな海を守るためには、多くの人の協力が必要だよね。 <p>3 伝えたいことを、どのようにして伝えるのが最もよいか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞の書き方を国語で勉強したんだから、新聞にして配るのはどうかな。 ・新聞にすると少し大きくなるからリーフレットみたいな小さな物の方が、もらった人は読みやすいかも。 ・映像を作ってニュース番組みたいにしたらいいと思う。文字より伝わりやすいと思うから。 <p>4 自分たちが出したアイデアを整理する。</p> <p>○アイデアをホワイトボードにはり、自分のグループのアイデアを整理していく。</p> <p>○他のグループの発表に対して意見やさらに改善したら良い点を助言する。</p> <p>5 振り返り、次時の予告を確認する。</p>	<p>○活動内容を振り返らせると共に、自分たちが何をしたいのかひとりひとりが意見をもてるようにする。</p> <p>※理由や根拠となる内容を、目的意識をもって考え発表する。【発言】</p> <p>○ワークシートを使い、自分の考えをまとめさせ、活動班で話し合いをさせる。</p> <p>○アイデアをグループでそれぞれ考えさせ、主体的に取り組ませる。</p> <p>※他者と協働し、大崎上島の海のよさを伝えるため、よりよいアイデアを出し合うことができる。</p> <p>【発言・ワークシート】</p> <p>○グループで考えたアイデアの中から、伝えたい内容の候補を決める。</p> <p>○理由付けしながら発表させる。</p> <p>○振り返りをするすることで、本時の学びを確かなものにする。</p>
---	--

3. 今回の活動の自己評価

<p>今回の活動では、これまで自分たちが学んだことを地域の人にどのようにして発信すべきか考えることが目的であった。これまで学んだことを整理する場面では、大崎上島の環境や生き物について、資料を活用しながら話し合うことができた。体験学習を多く取り入れることで、児童の学びを深いものにできた。</p> <p>話し合いの場面でも自分の意見をもって発言できる児童が多かった。調査をもとに資料を作成していることが、自分の意見への自信につながっている。地域へ発信することに期待感をもつことができている児童も多かった。</p> <p>地域について調べることで、大崎上島の海の現状を知ることとなった。そのことにより、危機感をもって環境を整えていきたいという気持ちになっていた。また、この単元を通して、多くの人に関わってもらったことから、地域に愛着をもったり、自分たちが大崎上島の海を守っていくのだという使命感をもったりする児童が多かった。このような気持ちを、地域への発信の際に伝えたいという思いで、最後まで学習に取り組むことができた。</p>
--

4. 今後の課題

学習内容は地域に根ざしているので継続して学習していきたい。今後の課題としては、地域への発信の仕方を1つの方法に固定するのではなく、グループごとに発信方法を変えるなど、発信方法を新しいものに変えていきたい。

単元を通しては、大崎上島の環境をもっと生かせるように体験活動の充実をこれまで以上に図っていきたい。具体的には、もっと多くの海岸に調査に行ったり、海の仕事に携わる方々ともっと連携をとったりできるようにしていきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

大崎上島町内第4学年「大崎上島学」、大崎上島の海を守ろうに向けた共通課題で1年間取り組んだ。これから高学年を迎える児童に、今まで取り組んだ学習意欲を土台とし、より一層深い学びにつなげたい。そして、大崎上島を知り、ふるさとを大切に、地域貢献したいと思える児童を育てたい。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端20mm、左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。